



飯田市立病院ニュース

飯田市立病院・高松分院広報

お母さんが望む 「よいお産」をめざして

平成十八年三月末までに、飯田下伊那地域で三つの医療施設が出産の取り扱いを止めました。それにより当院の分娩件数は、昨年までの月平均四十件が約二倍となり、四月以降の分娩予約件数は月平均八十件前後となっています。

当院では分娩件数の増加

に伴う院内の体制・対応を検討してきましたが、二月に産婦人科医師が一名増え、現在四名体制となっています。

施設面では、一月の初めから病棟の改修工事を行い、分娩室を一室増やしました。

また、外来では医師が診察する場所と助産師が計測する場所を分け



る場所を分けるために間仕切り工事を行いました。これにより、妊婦健診などを受けられる皆さんへのプライバシーについて配慮できるようになりました。

このほかに、妊婦さんとゆっくりお話ができる機会をつ



くるために「助産師外来」を始めました。対象者は三十七週以降の妊婦さんで、妊婦健診と赤ちゃんの心音やお母さんのお腹のはり具合などを診させてもらっています。特に、「どんなお産をしたいか」などの希望をお聞きして、分娩時には出来るだけお母さんの希望がかなえられるようにしています。

最近では、「横を向い



分娩室

たまま」や「四つんばい」のお産や、へその緒がついたままで赤ちゃんを抱っこする「カンガルーケア」も行っています。

また、お母さんと赤ちゃんがずっと一緒にいられるようにと考え、完全母子同室としてお部屋での授乳も始めました。

私たちはこうした取り組みを続けながら、お母さんや、ご家族が望む「よいお産」を一緒に考え支援させていただきますので、いつでもお気軽にご相談ください。

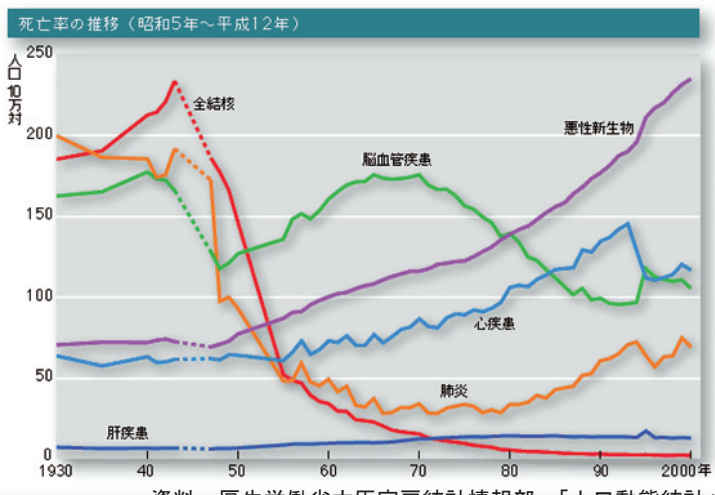
【産婦人科】

がん診療 連携拠点病院について

がんは日本人の死因の第一位で、患者数も毎年増加傾向にあります。このような状況下で全国のどの地域においても標準的ながん医療が受けられるように、厚生労働省より各医療圏にがん診療連携拠点病院を指定し整備していく方針が打ち出されました。

当院もがん診療連携拠点病院の指定をめざして三月二日に申請をしました。がん診療連携拠点病院の指定要件はわが国に多いがん（肺がん・胃がん・肝がん・大腸がん・乳がん等）について、地域の医療機関と密接に連携し、継続的に質の高いがん医療を提供することです。今後、がん診療に必要な専門医師、認定看護師、薬剤師など専門スタッフの配置、がんの治療や検査をするためのリニアック装置（放射線治療）やPET-CTなどの高度医療機器の整備、医療相談室の設置、個人情報保護法のもとでの院内がん登録、医療従事者に対する必要な研修の実施、地域住民に対する情報の公開などを積極的に推進する必要があります。

がん診療連携拠点病院に指定され



資料：厚生労働省大臣官房統計情報部 「人口動態統計」

ることで大学病院やがんセンターとの連携体制もさらに整い、遠方まで通わなくても最善のがん治療が受けられるようになります。

【診療部長 金子源吾】

グレードアップした放射線治療はじまる

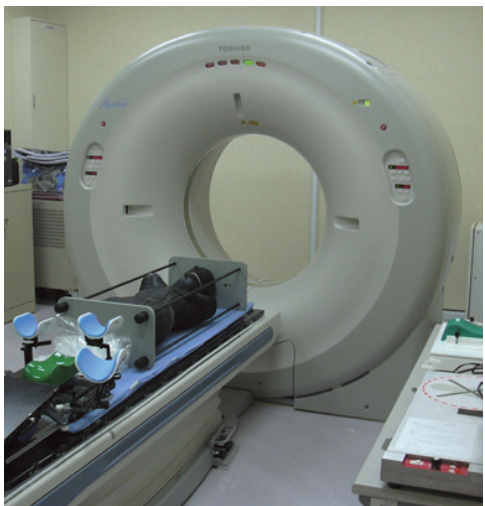
工事期間中はご迷惑をおかけしましたが、三月二十七日より放射線治療が再開しました。今回導入したリニアック装置の機能は腫瘍の形状に合わせて放射線を照射することができ、健康な組織を避けて腫瘍へあてる放射線の量を増やすことで、より高い治療効果や副作用の軽減が期待できます。

また、これにあわせて世界最大の開口径を有したCTも導入しました。これにより、放射線治療のための撮影だけでなく救急医療現場や、体格の大きい患者さんを撮影するときに威力を発揮できるようになりました。

【放射線科】



リニアック装置



(開口径は90cmあります)

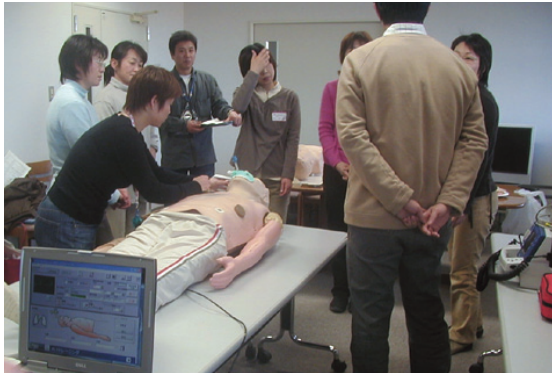
地域の救命率向上のため頑張っています

事故などで大きなケガをされた方や、心臓が止まってしまった方の命を助けるための処置を、確実にやる人を増やすために、当院の職員が中心となり講習会を開催しました。

飯田市立病院にて

一月十四日

J P T E C（ケガをされた方に対して事故現場から病院搬入



ICLS 飯田コース

までの初期医療の研修コース）
飯田コース

二月五日

ICLS（一次および二次救命処置）飯田コース

飯田医師会長（蟹江孝之先生）、飯伊包括医療協議会長（唐沢弘文先生）、飯田広域消防本部消防長（林田弘消防長）の出席の中開催されました。地域の医療関係者（医師、看護師）及び消防署の救急隊員の合わせて約三十名の受講生と五十名程のスタッフによる熱気を帯びた実技講習が夜八時まで続きました。

飯田女子短期大学にて

三月九日

BLS（一次救命処置）・AED（自動体外式除細動）講習会

五十名の教職員を対象に午前と午後の



飯田女子短期大学

部に分け講師十六名（当院職員十一名、救急隊員五名）で開催されました。

今後も地域の救命率向上のために、医療関係者や救急隊員に向けた講習会を積極的に開催していきます。

なお、飯田下伊那地域では高校生を対象に、一次救命処置習得の機会を設け、高校生全員に受講してもらうことを目標に掲げています。

【救急センター長 神頭定彦】

高松分院

季節に合わせた院内コンサート

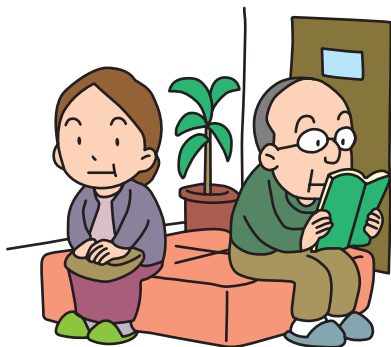


三月四日（土）に恒例の院内コンサートが開催されました。大正琴クラブと民謡クラブの皆さんによる演奏と踊りで、高松分院・ゆうゆう合わせて五十名余の患者さん及び入所者が楽しいひとときを過ごしました。大正琴演奏では「さくらさくら」「ひなまつり」などおなじみの曲が披露され、お年寄りも曲に合わせて口ずさみ、民謡クラブの踊りでは幼児（民謡クラブ員）の踊りが「かわいい」と大人気でした。

上手な診察の受け方

時間外受診は医療費が高くなります

夜間や休日に受診したら医療費が予想以上に高かったというご経験はないでしょうか。医療機関では通常の受付時間以外も患者さんをお受けするための体制をとっていますが、医療費の仕組みとして診察料、検査料、処置料等に**時間外・深夜・休日**の割増料金が設定されています。成人で休日に受診された場合は、三割負担の方は初診料だけで通常に比べ個人負担金が七五〇円多くかかります。また、深夜における処置や手術の費用は一・八倍となることがあります。昼間のうちに体の調子がおかしいなど症状があれば、そのときに受診いただければ医療費は通常の金額で済みます。



なお、当院の通常の受付時間（緊急時を除く）は休日などを除く月曜日から金曜日の午前八時三十分から午前十一時三十分までとなっていますので、この時間に受付を済ませていただくようお願いいたします。

成人の保険診療分医療費の例

(単位:円)

受診時間帯	初診料	投薬料	血液検査料	合計	個人負担(3割)
表示時間中	2,700	2,000	4,000	8,700	2,610
休日	5,200	2,000	5,100	12,300	3,690
深夜	7,500	2,000	5,100	14,600	4,380

*深夜とは、午後10時から午前6時までの時間帯をいいます。

歯科口腔外科からのお願い

当院の歯科口腔外科では、「口唇(くちびる)」「口腔内(舌・歯ぐき・頬粘膜など)」「上下顎骨」「唾液腺」などの良性の腫瘍や、「癌」「顎



骨折」「顎変形症(下顎前突症など)」「化膿性炎症」「顎の骨に埋まった歯の抜歯」など主に手術が必要な疾患の治療を行っています。一般的な虫歯、歯槽膿漏の治療や入れ歯を作るといった場合は、お近くの歯科医院に受診していただきますようお願いとご協力をお願いいたします。

【歯科口腔外科】

R1(核医学)検査休止のお願いについて

PET-CT導入のためR1検査区域の改修工事を行います。これに伴い四月初めから六月末までR1検査を休

止させていただきます。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【放射線科】

糖尿病患者会との共催で健康講座が開催される



貯筋体操風景

このたび、飯田市立病院では糖尿病患者会と共催による健康講座を開催しました。一般市民の方が約80名参加し、講演・健康体操・患者会会員の体験発表が行われました。最初に当院の小林陸博医師による講演は、糖尿病は自覚症状がないため知らない間に進行し、動脈硬化や三大合併症（失明・腎不全・神経障害）を引き起こすことから早期発見・早期治療が大切であることの説明がありましたが参加者からは、「わかりやすかった」と好評でした。次に牧内隆雄氏（健康運動指導士）による「貯筋体操」「ふつとふつと体操」は、笑いを交えながら楽しく行なわれ、

最後に糖尿病患者会会員による10年以上続けている運動の工夫などの体験発表がありました。次回は6月に腰痛・転倒予防を計画していますので興味のある方のご参加をお待ちしています。

【地域医療部】

検査の窓

基準値ってな〜に？

検査結果を見るときに、**基準値・基準範囲**なるものがあります。以前は、**正常値**と呼ばれていましたが、この正常・異常の言葉の意味が「健康と病気」を、さも明快に区別するような錯覚におちいりやすい為、最近**基準値**という言葉を使用するようになりました。基準値は多数の健康な人の値を調べ、平均値を中心とした95%の範囲に含まれる値に設定されます。基準値からはずれる残りの5%の人が必ずしも病気とは限りませんし、逆に基準値の範囲内だから健康とも限りません。基準値はおよその目安であり、個人の健康な時の値に比べて病気の時にどれだけ変動するかが重要になります。定期的に健診を受けて自分の健康な時のおよその値を把握しておくと思いいます。

次回はコレステロール（脂質関連検査）について記載します。



【臨床検査科】

皆様の声にお答えします

市立病院では、外来・入院患者さん、お見舞い等の皆様から様々なご意見ご要望をいただいております。貴重なご意見につきましては、集約して関係職員への回覧の後、できることから改善を行っています。

要望「会計の前に3、4人の人がいる場合には杖たての利用が不便になります。そこでもうひとつか二つ設置していただければと思います。」

現在中央受付には杖たてが3個置いてあり、1個には5本立てられるようになっていました。

会計（お支払）の前には1個置いてありますが2個に増やして様子を見させていただきます。

なお、新患受付周辺が1個となるので利用状況を見て追加購入も考えています。

皆様からいただきました貴重なご意見はよりよい医療を行うために反映させ、期待にこたえられる病院にして参りたいと思います。



話題の広場



保険証の提示を お願いします

四月は就職、転居、退職などのシーズンとなります。これにあわせて保険証の変更の手続件数が増え、保険証がお手元に届くまでに時間がかかることが予想されます。病院に受診されるとき手続き中で保険証がお手元にない場合は、そのことを受付窓口にお申し出下さい。

その後、保険証が届きましたら病院窓口へ、新しい保険証をご提示いただきますようお願いいたします。

できるかぎり診察を受けられた月のうちにご提示をいただきたいところですが、受診予定日等の関係で翌月になってしまふ場合には、FAXまたはコピーをお送りいただく方法もございますのでお問い合わせください。

新任医師の紹介

平成18年1月～4月1日



産婦人科
大野 珠美
平成15年卒業
平成18年2月1日着任
前勤務病院：信州大学医学部附属病院



内科
伏見 智久
平成5年卒業
平成18年4月1日着任
前勤務病院：信州大学医学部附属病院



循環器科
島田 健太郎
平成15年卒業
平成18年4月1日着任
前勤務病院：信州大学医学部附属病院

なお、病院に受診される際はその月の第一回目の受診日に保険証、各種医療受給者証のご提示をいただきますようお願いいたします。

【医事課】

研修医



小児科
青木 盛
平成10年卒業
平成18年4月1日着任
前勤務病院：信州大学医学部附属病院



形成外科
島本 紀子
平成15年卒業
平成18年4月1日着任
前勤務病院：伊那中央病院



大橋 伸朗
平成17年卒業
研修2年目



品川 千
平成17年卒業
研修2年目

今回の職場紹介はお休みします。

職場紹介



その10

編集後記

春の気配がそこここに、日増しに感じられる今日この頃です。病院も、新入職員を迎え、新しい息吹が感じられる季節となりました。私たちも気持ちを新たに地域の先進医療の一翼を担うべく日々精進すると共に、笑顔で患者さんに接する事ができるよう、心にゆとりを持って仕事に当たりたいと思います。

【橋爪由紀子】



正司 光子
平成18年卒業



石川 香織
平成18年卒業



田中 厚誌
平成18年卒業



松葉 友幸
平成18年卒業



五味 大輔
平成18年卒業



柳澤 大輔
平成18年卒業



藤井 雄
平成18年卒業



佐藤 勇樹
平成18年卒業